(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年6月19日

名古屋市長 様

提出者

住 所 名古屋市東区泉1-23-22

氏 名 トヨタホーム愛知株式会社

代表取締役 加藤 文昭

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 052-950-1665

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	業	場	<u></u>	の	3	名	称	トヨタホーム愛知株式会社		
事	業	場	0)	序	f	在	地	名古屋市東区泉1-23-22		
計		画		其	月		間	令和6年4月1日~令和7年3月31日		
当記	当該事業場において現に行っている事業に関する事項									
		1 -	事	業	の	種	類	06 総合工事業		
		2	事	業	の	規	模	元請完成工事高 331,384万円		
		3	従	業	i i	員	数	308名		
		④産 連 の		廃棄			1	建築物解体工事:金属くず→再生処理業者に委託して再資源化 廃プラ→再生処理業者に委託してRPF燃料として再資源化 がれき類→再生処理業者に委託して再生砕石として再資源化 木くず→再生処理業者に委託して選別を行い再資源化。再資源化できないもの は最終処分業者に委託して埋立処分 がラスくず及び陶磁器くず→再生処理業者に委託して選別を行い再資源化。再資源化 できないものは最終処分業者に委託して埋立処分 石膏ボード→再生処理業者に委託して埋立処分 石膏ボード→再生処理業者に委託して再資源化 繊維くず→再生処理業者に委託して再資源化 新築工事:上記と同じ内容以外は、紙くず→再生処理業者に委託して再資源化		

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項											
(管理体制図) 本社技術部											
	技術本部長(産業廃棄物処理総括責任者)										
	工務部工務G(産業廃棄物管理担当)										
	工事現場管理責任者										
	上 下請会社										
産業廃	棄物の排出の抑制に関	 引する事項									
		【前年度	(令和5年	度)実績	1						
		産業原	軽棄物の きんこう	種類	別紙の通り						
		排	出	量	t	t					
	①現状	(これまでに実施した取組) 設計・現場でのミスを発生させない。 梱包材をリサイクル可能な材料への変更。									
		【目標】									
		産業原	産棄物の	種類	別紙の通り						
		排	出	量	t	t					
	②計画		だは、プ 化率が進ん 等で交打	んでおり』	老の中でも主力である 廃棄物の排出も少ない 事により廃棄物が発生	い。しかし、現場で					
産業廃	棄物の分別に関する事										
	①現状		蓬莱物:	解体工事	の種類及び分別に関っ 現場において、各現場						
	②計画	建築混合廃 ので混合廃	養物:発 養物を発	新築現場。 発生させ	廃棄物の種類及び分別においては、ゼロエミない。また養生材にない。またででいていく 乗物削減を行っていく	ミに取り組んでいる ついて、リユース可					

	【前年度(年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
①現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
U HIN	(これまでに実施した取組)		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
₩ 円	(今後実施する予定の取組)		
 ・う産業廃棄物の	の中間処理に関する事項 の中間処理に関する事項		
	【前年度(年度)実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
①現状	自ら中間処理により減量 した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
②計画	自ら中間処理により減量 する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋処分に関する事項									
		【前年度(年度)実統	漬】						
		産業廃棄物の種類							
		自ら埋立処分又は 海洋処分を行った 産業廃棄物の量	t	t					
	①現状	(これまでに実施した取組)							
		【目標】							
		産業廃棄物の種類							
	@#J	自ら埋立処分又は 海洋処分を行う 産業廃棄物の量	t	t					
	②計画	(今後実施する予定の取組)							
産業廃	棄物の処理の委託に	<u></u> 関する事項							
		【前年度(令和5年度)実績							
		産業廃棄物の種類	別紙の通り						
		全処理委託量	t	t					
		優良認定処理業者への 処理 委託 量	t	t					
		再生利用業者への 処理 委託 量	t	t					
	①現状	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t					
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量		t					
		(これまでに実施した取組) 解体工事の各現場において、 混合廃棄物については、可 頂き埋立処分量の削減に努	、可能な限り各現場で 能な限り委託処理業者	· · · · · -					

(第5面)

	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量		t
	再生利用業者への処理 委託 量	t	t
②計画	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
911	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 混合廃棄物については、可 頂き埋立処分量の削減に努	能な限り委託処理業者	者にて選別を行って
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元 請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種 に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
 - 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【前年度(令和5年度)実績】

	廃棄物の種類	廃プラスチッ ク	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	がラス・コンクリー ト・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	混合廃棄物	がれき類
	名称(任意の名称を記入してください)		ダンボール含						コンクリート片含		石綿
1	排出量(t)	265	158	440	5	6	121	72	1,156	108	21
2	自ら再生利用を行った量(t)										
3	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行った量(t)										
5	自ら熱回収を行った量(t)										
7	自らの中間処理による減量(t)										
10	処理委託した全量(t)	265	158	440	5	6	121	72	1,156	108	21
11)	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	0	0	83	0	0	0	0	0	0	6
12	再生利用業者への処理委託量(t)	265	158	440	5	6	121	72	1,156	86	0
13	認定熱回収業者への処理委託量(t)										
14)	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量(t)										

【今年度(令和5年度)計画】

	廃棄物の種類	廃プラスチッ ク	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	ガラス・コンクリー ト・陶磁器くず	石膏ボード	がれき類	混合廃棄物	がれき類
	名称(任意の名称を記入してくださ い)		ダンボール含						コンクリート片含		石綿
1	排出量(t)	250	130	400	2	5	100	60	1,000	90	15
2	自ら再生利用を行う量(t)										
3	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行う量(t)										
5	自ら熱回収を行う量(t)										
7	自らの中間処理による減量(t)										
10	処理委託する全量(t)	250	130	400	2	5	100	60	1,000	90	15
11)	優良認定処理業者への 処理委託量(t)	0	0	100	0	0	0	0	0	0	10
12	再生利用業者への処理委託量(t)	180	100	300	2	20	80	45	1,000	76	0
13	認定熱回収業者への処理委託量(t)										
14)	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量(t)										